事例No.	1152
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	熊本県御船町

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林経営管理制度を活用した森林整備の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

熊本県　御船町（森林経営管理制度を活用した森林整備の推進）

- 本町では、森林面積5,569haのうち約５割（2,489ha）が民有人工林で、その約８割が伐期を迎えている。森林の管理については、主に地元の森林組合が保育（間伐）事業を主体として行っているが、森林区域内の地籍調査が未着手であるため、所有者の把握や境界確認等が難しため、地区座談会の開催、戸別訪問での意向調査、現地確認、隣接所有者の洗い出しによる境界の確認やGPS測量について、町全域を概ね10年計画で実施し、町による森林整備を進める方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により、森林所有者の把握や境界明確化につながった。
- 町内の私有林人工林200haの意向調査に取り組み、森林境界明確化で整備箇所の把握につながった。令和２年度においては、この調査結果をもとに、採算ベースにのらない森林については、町が自ら間伐等を実施する予定。

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査の実施

- 町内の私有林人工林200haの森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。

【事　業　費】5,263千円（うち譲与税0千円）

【実　　績】・意向調査面積　123ha

2　森林境界明確化の実施

- 森林の境界を現地で確認・明確化するための立会や杭打ち、施業区域の測量 。

【事　業　費】1,436千円（うち譲与税1,349千円）

【実　　績】・境界明確化面積　197ha



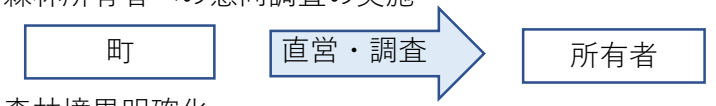
（事業１：地区説明会の様子）



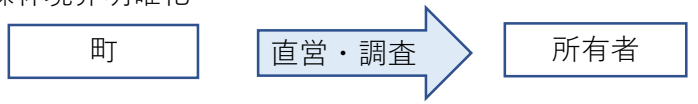
（事業２：境界明確化の様子）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査の実施



2　森林境界明確化



□ 工夫・留意した点

- 意向調査については、調査票を郵送するのではなく地区説明会を開催したり、直接面会して聞き取りすることで回収率の向上に努めている。
- 所有者探索や境界確認のため地元精通者の雇用で、所有者探索や境界確認が円滑に進む。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	4,572千円
②私有林人工林面積（※１）	2,489ha
③林野率（※２）	56.1%
④人口（※３）	17,237人
⑤林業就業者数（※４）	22人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」